

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP1-17
研究課題名	原爆被爆者における造血器悪性腫瘍発症時の同定に関する研究
研究責任者（所属）	宮崎泰司（長崎大学原爆後障害医療研究所、放射線影響研究所臨床研究部・疫学部顧問）
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>利用目的：</p> <p>原爆被爆者では骨髄異形成症候群などの造血器腫瘍と呼ばれる血液の病気が増えています。しかし病気がどのように発症し、進展するかはほとんど解明されておりません。私たちは、骨髄異形成症候群を発症した原爆被爆者で、血液の遺伝子異常を調べることで、病気がどのように発症するのかを研究します。さらに原爆放射線による病気の発症の経緯について解明を目指しています。</p> <p>利用方法：</p> <p>放射線影響研究所（放影研）で定期的に健診を受けられている原爆被爆者の方で、骨髄異形成症候群と診断された方を対象とします。対象となる方のうち、研究開始時に生存されている方へは直接説明し、同意を確認させていただきます。血液からゲノム DNA を抽出し、その異常（変異）を調べます。さらに診断、血液検査結果など（臨床情報といいます）や被ばく線量との関連を調べます。本研究では、主に放影研や医療機関ですでに保存されている血液や臨床情報などを利用します。医療機関で保存している血液や臨床情報を利用する場合は、長崎大学病院の共同研究者（医師）を通じ医療機関に依頼します。これらの試料や情報は放影研で匿名化され、長崎大学原爆後障害医療研究所（長崎大学原研）と京都大学に提供されて解析が行われ、一部の解析は外部の検査機関で行われます。</p>
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（提供先機関：長崎大学原研血液内科学研究分野および人類遺伝学研究分野、長崎大学病院細胞療法部、京都大学医学研究科腫瘍生物学） <input type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	<input checked="" type="checkbox"/> 試料 放影研で保管されている血液試料

	<p>新たに採取する血液試料、頬粘膜、爪</p> <p>医療機関や長崎大学原研に保管されている血液、骨髄試料</p> <p>●情報</p> <p>(ア)放影研が保有する情報：性別、生年月、診断名、診断日、血液生化学などの検査結果、治療歴（化学療法、放射線治療等）、死亡日、血液試料採取日、骨髄線量</p> <p>(イ)長崎県がん登録情報：診断日、組織診断、治療内容、医療機関名など</p> <p>(ウ)受診歴のある医療機関が保有する情報：診断名、診断日、血液生化学検査などの検査結果、治療歴、死亡日</p> <p>(エ)長崎大学原研に保管されている情報：臨床情報、ゲノムデータ</p>
利用する者の範囲	<p>長崎大学原爆後障害医療研究所</p> <p>宮崎泰司</p> <p>田口正剛</p> <p>糸永英弘</p> <p>佐藤信也</p> <p>吉浦孝一郎</p> <p>長崎大学病院</p> <p>長井一浩</p> <p>京都大学医学研究科</p> <p>小川誠司</p> <p>南谷泰仁</p> <p>放射線影響研究所</p> <p>今泉美彩</p> <p>飛田あゆみ</p> <p>大石和佳</p> <p>吉田稚明</p> <p>三角宗近</p> <p>フレンチ・ベンジャミン</p> <p>小笹晃太郎</p>
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	宮崎泰司（長崎大学原爆後障害医療研究所、放射線影響研究所臨床研究部・疫学部顧問）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉 和紀
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：今泉美彩</p> <p>公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部</p> <p>住所：長崎市中川一丁目 8 番 6 号</p> <p>TEL：095-823-1121</p>